# Classiセキュリティホワイトペーパー

1.1版

**Classi株式会社**

## 改訂履歴

| 版 | 改訂日 | 改訂内容 |
|---|---|---|
| 1.0 | 2021/4/1 | 初版発行 |
| 1.1 | 2021/11/15 | 15 ログの保管 |

## 1　目的

このホワイトペーパーは、Classiの利用を検討されている方、すでに利用いただいている方に向けて、Classiのセキュリティへの取り組みを確認いただくとともに、Classiをセキュアに利用いただくための留意事項を確認いただくことを目的としています。

## 2　Classiと利用者との責任分担

Classi株式会社の責任

Classi株式会社は、以下のセキュリティ対策を実施します。

- お預かりしたお客様データの保護
- サービス提供のために当社が設計・開発するソフトウェアのセキュリティ対策
- サービス提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

お客様の責任

お客様は、Classiをご利用するにあたり、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- アカウントの適切な管理（登録、削除、組織管理者権限の付与など）
- サービス内に登録・保管するデータのバックアップ
- 利用する端末等の適切な管理（インターネット回線、OS・ブラウザ等の最新版利用など）

## 3　データ保管場所

- Classiのデータベース上のデータは、日本国内のデータセンターに保管されます。

## 4　学校の判断で解約された際のデータの取扱い

- Classiに保存したデータが必要な場合は、自己の責任と費用負担においてダウンロードしてください。
- それまで利用していたユーザーからはアクセスできないように論理的な削除(レコードの無効化)を実施しています。

## 5　卒業や転校などに伴い解約された際のデータの取扱い

- Classiに保存したデータが必要な場合は、自己の責任と費用負担においてダウンロードしてください。
- 卒業後のデータは生徒、保護者から読み取り・更新をすることができなくなります。先生においても基本は同様ですが、指導に必要な範囲で卒業後も読み取りが可能なデータがあります。

## 6　パスワードの通知方法

- お客様の管理者へは、Classiから初期パスワードを通知します。
- ご利用いただく先生、生徒、保護者へは、お客様の管理者から初期パスワードを通知します。
- 初期パスワードは、初回ログイン時に変更が必要です。
- ユーザーはパスワードを忘れた場合、自らサービス画面よりパスワードの再設定を行うことが可能です。
- 詳細なパスワード変更の手順は「Classi各機能ご利用ガイド」より確認いただけます。

## 7　暗号化の状況

- データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は暗号化され、適切なアクセス権のもとで保管されます。
- お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、SSL/TLSプロトコルにより暗号化されたhttps通信が用いられます。

## 8　仕様の変更管理

- バージョンアップをはじめとする、各種のサービスの仕様の変更に関する情報は、「Classiからのお知らせ」より通知いたしします。
- サービスのメンテナンスを行う際は、事前にサービス画面へ通知いたします。また、お客様の利用に大きな影響があるメンテナンスを実施する場合は、お客様の管理者に対してメール等にてご連絡します。

## 9　手順書の提供

- Classiの仕様や操作手順を記載した「Classi各機能ご利用ガイド」を学校毎に配布します。

## 10　バックアップの状況

- データベースに保管される、お客様の各種情報は、日次でバックアップを取得しています。
- ただし、お客様によるバックアップデータの復元等に関する要望は、承っておりません。

## 11　脆弱性管理に関する情報

- Classiでは、脆弱性診断サービスを利用して、リリースに応じて適宜、脆弱性診断を実施しています。
- システムで利用しているOS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報は、専用の脆弱性情報収集サービスを利用して収集し、専門部署が確認し、対応可否を判断しています。

## 12　開発におけるセキュリティ情報

- Classi システムの開発は、社内で定められたコーディング規約に従って実施されます。

## 13　インシデント発生時の対応

- お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント（データの消失・漏洩、長時間のシステム停止等）が発生した場合には、発生を検知し次第、すみやかにお客様の管理者へメール、ウェブサイトの告知、Classi画面等にてご連絡します。
- サービス稼働状況につきましては、下記のWebページより閲覧が可能です。
    - https://status.classi.jp/
- 情報セキュリティインシデントに関するご報告は、以下の窓口より承ります。
    - 情報セキュリティインシデント報告窓口：privacy@classi.jp

## 14 ログの時刻同期に関する情報

- ログの時間は、Amazon Web Servicesが提供するマネージドサービスであるAmazon Time Sync Service を利用しています。

## 15 ログの保管

Classiの機能を通して提供されるログは、以下の表に従った期間で保管されます。

| ログの種類 | 保管期間 |
|---|---|
| 操作ログ | 5年間 |
| ログインログ | 5年間 |

- 利用者からのログの提出要求に関しては、原則応じることはできませんので、あらかじめご了承ください。

## 16 連携サービス

- Classiは、以下のURLに記載する外部のサービス（連携サービス）についてClassiのアカウントを用いて利用することができます。
  - https://classi.jp/feature/option/
- 連携サービスの機密性、完全性、可用性については、お客様の責任にて判断するものとします。
- 連携サービスを利用することにより生じた問題等について、Classi株式会社は一切関与せず、お客様から直接、連携サービスを提供する会社にお問い合わせいただくものとします。

## 17 適用法令

- お客様とClassi株式会社との間の契約は、日本法に基づいて解釈されるものとします。

## 18 情報セキュリティの独立したレビュー

- 当社は、情報マネジメントシステム認定センター（ISMS-AC）が運営する、ISMS適合性評価制度における、ISMS認証を取得しています。
- 当社は、定期的に監査を実施しています。監査では、社内の独立した立場の監査員もしくは専門組織等の外部監査員によって、当文書を含む社内のポリシーに、当サービスが適合しているかのチェックが実施されており、問題が見つかった場合には、速やかに改善を行っています。

### この資料に関するお問い合わせ

Classi株式会社
東京都新宿区西新宿2丁目1-1 新宿三井ビルディング 14階
ISMS事務局
Email：privacy@classi.jp